

◇福祉の公園づくりワークショップ

※福祉の公園づくりとは、福祉施設や地域と連携し誰もが楽しく公園を利用ができ、公園を介して交流が広がる公園づくりを目的とする。(札幌市 特記仕様書より)

★第1回WS (H21.10.10)

「藤花公園ウォッチング」

ゲームなどを楽しみながら、公園を見学。

- 現在の藤花公園がどのようなか見て回り、良い所、改善する所を見出す。
- ・理学療法士であるケアセンターのスタッフから活動前の準備体操の指導を受ける。
- ・車椅子体験を通してバリアフリーの必要性を体感する。



★第2回WS (H21.11.17)

言いたい放題 !

「こんな公園になったらいいな・・・」



- どのような公園像を目指すのかについて議論を行う。
- ・前回のWSから①安全・安心 ②体の健康③心の健康への思いが多いことから、子供からい年寄りまで「気軽に健康づくりができる公園」を計画

のテーマとする。

- ・ゾーニングは、①遊びゾーン②健康づくりゾーン③休憩ゾーンからなるが、参加者の意向として各ゾーンを分けることなく、老若男女、すべての利用者が公園全体を利用して楽しめる公園を目指すこととなった。

決定したゾーニング



★第3回WS (H21.12.10)

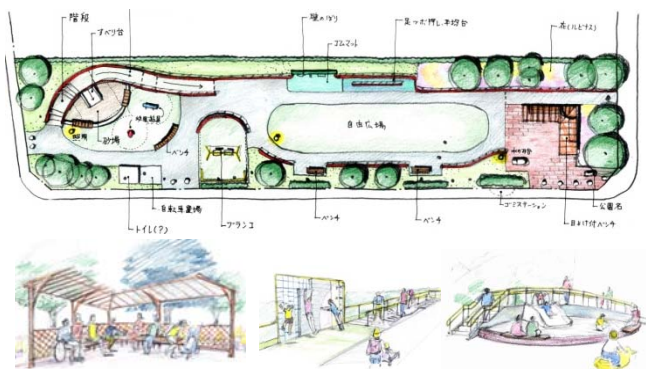
中間発表 !

「こんな公園 いかがでしょう・・・?」



- これまでのWSや検討会の結果を反映させた素案を示す。

- ・全体として良い雰囲気公園になりそう。
- ・「ながらリハビリ」の公園。これだと続けられそう。
- ・トイレは不要。長居する公園ではない。その分他の施設を充実。
- ・高さの異なるベンチがあると、立ち上がる練習になる。
- ・鉄棒を入れて。子供も大人も利用する。



★第4回WS (H22.01.15)

最終発表 !

「完成予想図のお披露目会」

- これまでのWSを振り返り計画図の最終確認を行い、今後の「実施設計」「工事」「開園後」の各段階で、地域やケアセンターの関わり方やニーズを探る。

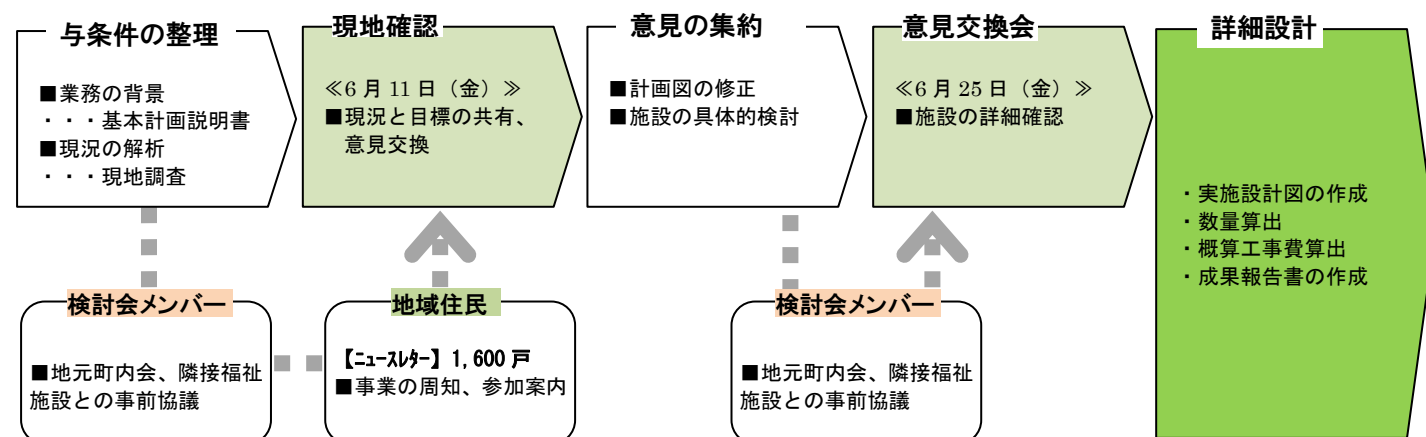


- ・計画案に関して、パーゴラ内のテーブルの要望以外は全員了承。
- 《今後公園でやってみたいこと》
- ・「実施設計段階」では、施設の位置や間引く樹木の再確認
- ・「工事段階」では、工事現場の見学会
- ・「開園時」は、開園式を行い地域にお披露目をしたい。健康器具の使い方講習やお茶会を合わせて行いたい。
- ・「開園後」ケアセンターで「健康体操」や健康づくり講習会」など積極的公園を活用したい。



◇西野中央藤花公園実施設計

平成 21 年度に策定された同公園の基本計画である「福祉の公園づくりワークショップ業務」から継続し、地元町内会役員と公園に隣接する福祉施設「西野ケアセンター」のスタッフに《設計段階》における「検討会メンバー」として協力を要請した。



現地確認（6月11日）

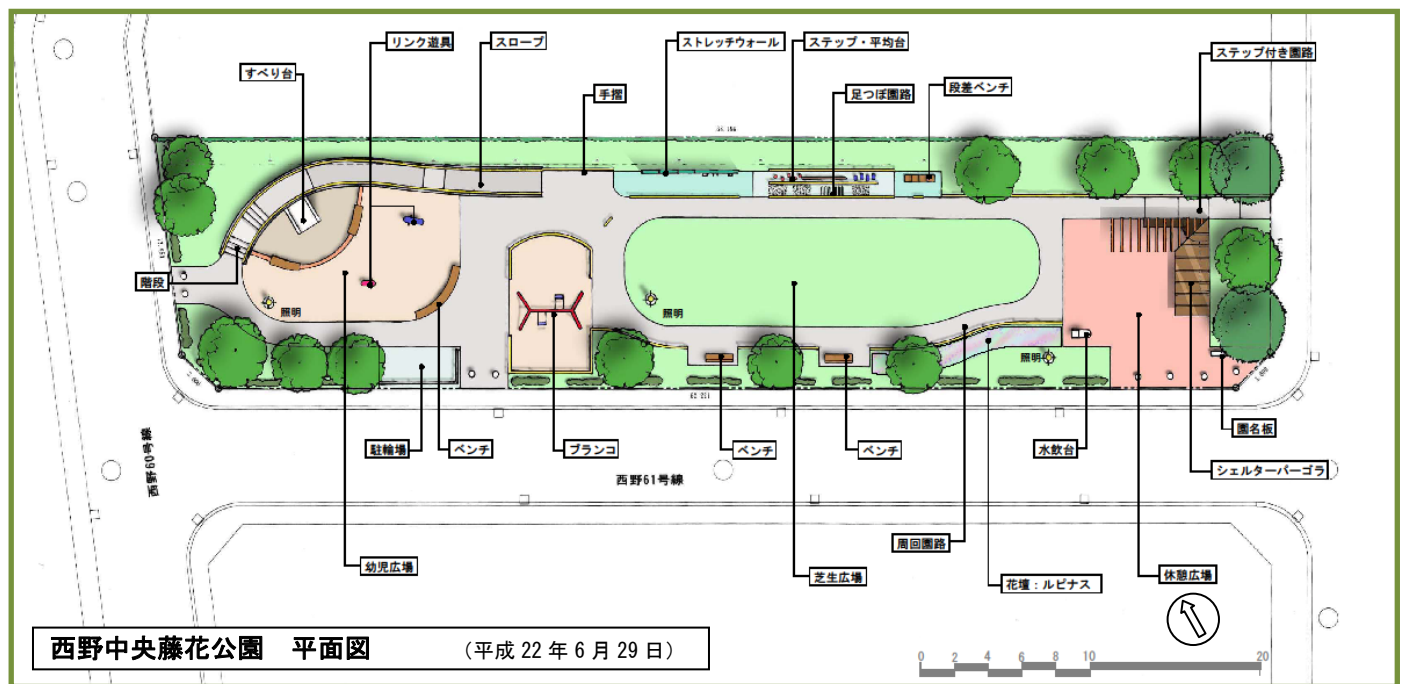
『みんなで現地を確認しよう』 公園の入り口は？ 遊具やベンチの位置は？ 残す樹木は？
完成予想図と見比べながら現地確認を行います。
あらかじめ現地には完成予想図に沿って園路や広場の範囲を示した白線が引いてあります



施設の詳細確認（6月25日）

『健康遊具の機能・効能の確認』 西野ケアセンターのスタッフで予防医療・高齢者介護の専門家である理学療法士の菊地氏を交えて、検討中の各種健康遊具に関して原寸図を用いてアドバイスをもらう。





◇完成 2011. 4. 6



健康づくり講習会 2011. 7. 20

